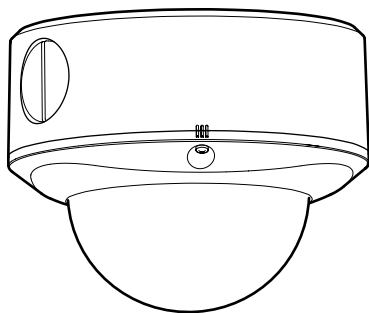


カラービデオカメラ（ドーム・耐衝撃型）

型
名 **TK-S215VP**

取扱説明書



お買い上げありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」と「安全上のご注意」
をお読みのうえ、正しくお使いください。
特に別冊の「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき
安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、
必要なときにお読みください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は
本機に製造番号が正しく記されているか、またその製
造番号と保証書に記載されている製造番号が一致してい
るか確かめください。

はじめに

もくじ

はじめに

もくじ.....	2
特長.....	3
安全に関するご注意.....	3
正しくご使用いただくためのご注意.....	4
各部の名称.....	5
カメラ本体.....	5
カメラ内部.....	7
レンズ部とスイッチ設定について.....	8

設置と接続

システム例.....	10
同軸ケーブル長の設定.....	11
接続から設定までの手順.....	12
スイッチ設定をする.....	13
ベースを取り付ける.....	13
ケーブル接続.....	15
カメラ本体を取り付ける.....	16
映像を調節する.....	18
テストモニターを取り付ける.....	18
カメラの撮影方向を調節する.....	18
画角・フォーカス・明るさを調節する.....	19
インナードームを取り付ける.....	20
ドームカバーを取り付ける.....	20
電工ボックスを使って カメラを取り付ける.....	21
配管を使ってカメラを取り付ける.....	22
ベース底面の配管用穴を使用してカメラ を取り付ける.....	22
ベース側面の配管用穴を使用してカメラ を取り付ける.....	23

その他

保証とアフターサービス.....	24
仕様.....	25

- 大切な撮像の場合は必ず事前に動作確認をしてください。
- ビデオカメラ、VTR、ハードディスクレコーダーまたは、ビデオテープなどの使用中、万一これらの不都合により録画されなかった場合、録画内容の補償や機会の損失についてはご容赦ください。
- カメラ本体を触る前に必ず[MONITOR]端子の金属面を触り、体に帯電した静電気を放電してください。静電気によりカメラが故障する場合があります。

特長

■ 高い防塵・防水性能の実現

防塵・防滴構造で、雨の影響も受けないため、直接屋外に設置することができます。
JIS C0920 (IP66 仕様)

■ 高画質の実現

38 万画素、高感度 CCD と高解像度映像処理回路の採用で、540TV 本、S/N50 dB を実現しました。

■ 撮影範囲の拡大

撮影方向の調節範囲が広く、ローテーション調節機構の採用によって壁面への取り付けも可能です。

■ カメラを意識させないデザイン

ドーム型デザインにより、カメラを意識させないで使用できます。

■ 高倍率バリフォーカルレンズ搭載

光学 3.6 倍バリフォーカルレンズ内蔵によって、より細かな監視が行なえます。

■ 簡易 DAY & NIGHT 機能搭載

被写体の明るさが暗くなった場合、自動的に白黒映像に切り換える、簡易 DAY & NIGHT 機能の設定ができ、暗いときの監視に役立ちます。

安全に関するご注意

- 本機を設置する場合は、専門技術が必要となります。設置は、販売店にご依頼ください。
- 本機は単体で使用することはできません。別売の同軸多重方式のカメラコントロールユニット (CCU) に接続して使用します。使用できる CCU は、TK-U1006、TK-U1403、TK-U1802、TK-W410 などです。
- 定格表示ラベルは、カメラ本体底面に貼付しています。
- 設置説明に従わない不完全な取り付けによって、カメラが落下した場合、当社は責任を負いかねます。設置は十分に注意して行なってください。
- 本機を天井に取り付ける場合、本機の質量を支えられる十分な強度をもった場所に取り付けてください。十分な強度をもっていない場所に取り付ける場合は、設置前に天井への補強を必ず行なってください。
- 取付ねじや配管での締め付けが不十分だと本機が落下する原因となります。締め付けは適正かつ確実に行なってください。
- スポットライトなど、高温になる照明器具の近くに設置しないでください。故障や火災の原因となります。

この取扱説明書の見かた

■ 本文中の記号の見かた

- ご注意** : 操作上の注意が書かれています。
- メモ** : 機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。
-  : 参考ページや参照項目を示しています。

■ 本書記載内容について

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では ™、®、© などのマークは省略してあります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。

正しくご使用いただくための ご注意

保管および使用場所

- 次のような場所への設置およびご使用はできません。
 - 厨房など蒸気や油分の多い場所
 - 使用周囲温度(−10℃～50℃)を超える場所
 - 腐食性のガスが発生する場所
 - 放射線やX線及び強力な電波や磁気の発生する場所
 - 振動する場所
- 本機および本機に接続したケーブルを強い電波や磁気の発生するところ(例: ラジオ、テレビ、変圧器、モーターなどの近く)で使用した場合、画像にノイズが入ったり、色彩が変わることがあります。
- 本機を冷氣があたる場所やエアコンの噴出口の近くに設置しないでください。急激な温度変化によってドームカバーがくもるおそれがあります。
- 本機はIP66 準拠ですが、どのような環境下でも浸水しないことを保証しているものではありません。

その他

- 本機は AGC 回路内蔵のため、AGC ON で使用したとき、暗い場所では自動的に感度が上がり、画面がザラついた感じになる場合がありますが、これは故障ではありません。
- 本機をホワイトバランス ATW(自動追尾)で使用したとき、被写体の状況により、自動追尾ホワイトバランス回路の原理上、実際の色と多少色合いが異なる場合がありますが、故障ではありません。
- 高輝度の被写体(ランプなど)を撮影した時、画面上の画像に垂直線が表示される現象(スミア現象)や高輝度の被写体周辺ににじみ(ブルーミング現象)などの現象が現れます。これは CCD の特徴で故障ではありません。
- 本機は電子シャッターを出荷時、1/60 に設定しています。商用電源周波数 50 Hz の地域で蛍光灯照明下(インバーター照明器は除く)では 1/100 に切り換えてご使用ください。(1/100 の時、感度が少し下がります。)
- 簡易 DAY & NIGHT 入切スイッチを"ON"にすると、暗い場所では白黒映像となります。この時、感度が上がるため、画面がザラついたり、白点が増えることがあります。またカ

ラー映像と白黒映像の切り換わり時に画面の明るい部分が強調され、見えにくくなる場合がありますが、故障ではありません。

- 落雷やエアコンの電源投入などによって、電源電圧が瞬間的に断たれる、もしくは低下した場合、画像が乱れたりノイズが混入することがあります。
- 本機を寒い場所から暖かい室内などへ移動したときに、結露が発生し、動作しない場合があります。この場合は室温に1時間程度放置した後、電源を入れてください。
- 本機は、広範囲な設置に対応するためローテーション角を大きくしています。レンズのズームがワイド側、かつチルトの角度が、±70°付近の場合、ローテーションの角度によって本機の一部が撮影画面に映り込む場合があります。そのときは、必要に応じて画角の調節を行ってください。(P. 18 ページ)
- 温度変化によるくもり防止のため、添付のシリカゲルを指定の場所に必ず入れてください。(P. 17 ページ)

お手入れについて

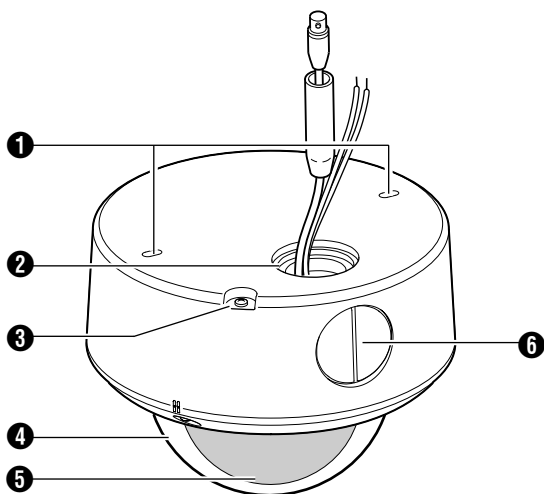
- お手入れは、電源を切ってから行なってください。
- ドームカバーは、レンズふき用布(または柔らかい布)を使用して汚れをふきとってください。シンナーやベンジンでふくと、表面がとけたり、くもったりします。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を布につけてふき、あとでからぶきしてください。

省エネについて

- 長時間使用しないときは、安全および節電のため、システムの電源を切ってください。

各部の名称

カメラ本体



① 取付穴 × 2

カメラを天井、壁、電工ボックスに取り付ける場合に使用します。

(16 ページ)(21 ページ)

ご注意:

- 電工ボックスにカメラを取り付ける場合は、付属のアダプタープレートを使って取り付けてください。
- 電工ボックスを使ってカメラを取り付けたい場合は、お買い上げ販売店または最寄りのビクターサービス窓口にご相談ください。

② 接続ケーブル用穴、配管用穴

接続ケーブルを取り出す穴です。この穴を使用し、配管に直接取り付けすることもできます。(配管穴：G3/4-14UNC)

(22 ページ)

③ 落下防止ワイヤー取付ねじ

本機に落下防止ワイヤーを取り付けるときに使用します。(落下防止ワイヤーは付属されていません。)

ご注意:

- 万一の落下に備え、落下防止ワイヤーを接続してください。接続しないとカメラ本体が落下する原因となります。

④ ドームカバー

⑤ インナードーム

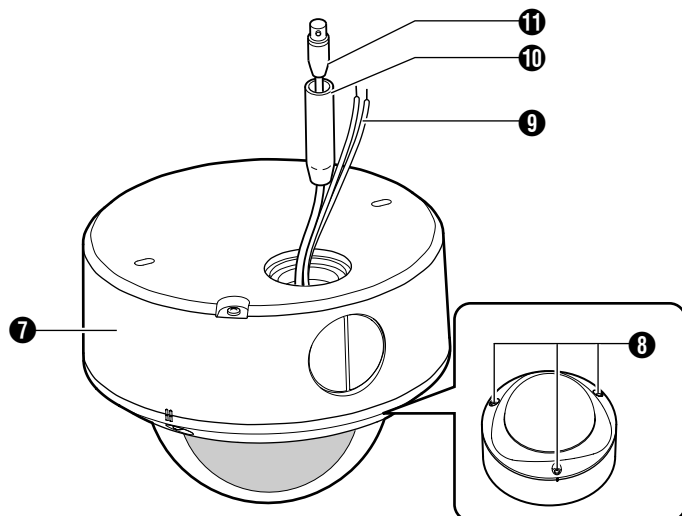
カメラの取り付け前にはずし、スイッチ設定や画角の設定などを行います。(13 ページ)

⑥ 配管穴用プラグ・配管用穴（側面）

側面から配管に直接取り付けるときに使用します。出荷時、この穴には配管穴用プラグが取り付けられています。(23 ページ)

各部の名称（つづき）

カメラ本体（つづき）



⑦ ベース

取り付け時、ベースを天井や壁、電気ボックスに取り付けてからカメラ本体を取り付けます。
([P. 13](#) ページ)([P. 21](#) ページ)

⑧ ドームカバー固定ねじ

ドームカバーの固定ねじです。プラスドライバーで取り付け取りはずしをします。

⑨ 拡張用電源ワイヤー

現在は使用できません。

⑩ 保護カバー

CCU からの同軸ケーブルを接続後、スライドさせて同軸ケーブル接続用コネクタ（BNC）⑪にかぶせます。
コネクタの金属部を天井構造物から絶縁、保護します。

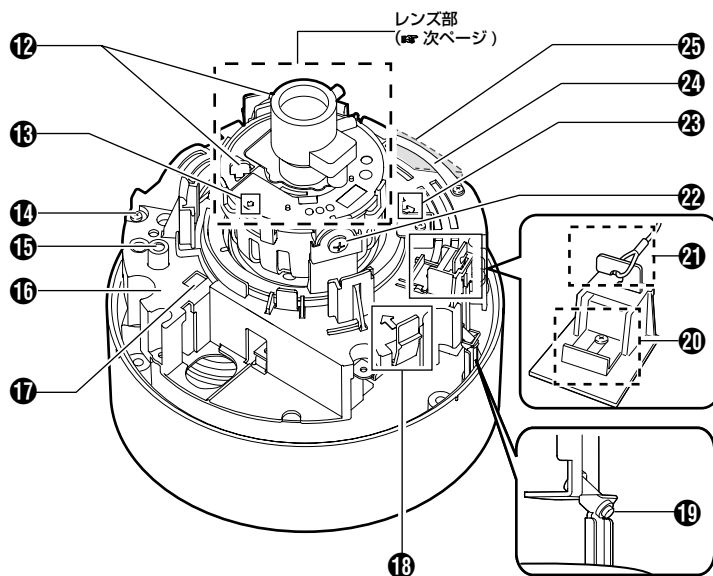
⑪ 同軸ケーブル接続用コネクタ（BNC）

([P. 11](#) ページ)

カメラ内部

ドームカバー、ベース、インナードームをはずした状態です。

- 取りはずし方 (P. 13 ページ)



12 ローテーションつまみ

レンズ部をローテーション（回転）させ、画像の傾きを調節します。(P. 18 ページ)

13 ローテーションセンターマーク (P. 18 ページ)

14 カメラ本体固定ねじ × 2

カメラ本体 16 とベース 7 を固定します。
はずし方 (P. 13 ページ)

15 [MONITOR] モニター端子（ピンジャック） (P. 18 ページ)

16 カメラ本体

17 拡張用コネクター

現在は使用できません。

18 カメラ本体固定ツメ × 2

カメラ本体をベースに固定しているツメです。
ベースをはずすとき、矢印の方向へ押しながら
はずします。(P. 13 ページ)

19 落下防止金具

カメラ本体 16 とベース 7 をつないでいます。
ベースを天井や壁などに取り付ける作業中にカ
メラ本体をはずすこともできます。(P. 14
ページ)

20 落下防止ロック・落下防止ロック固定ねじ

落下防止金具 19 がカメラ本体からはずれない
ようロックし、固定します。

21 落下防止ワイヤー・ワイヤー固定フック

カメラ本体 16 とドームカバー 4 をつないでい
ます。

22 チルト固定ねじ

画角の調節後、振動が激しい場所などで使用す
る場合、カメラの画角がずれないように締めて
ください。(P. 18 ページ)

23 撮影方向マーク

撮影方向に矢印を向けてカメラを設置します。

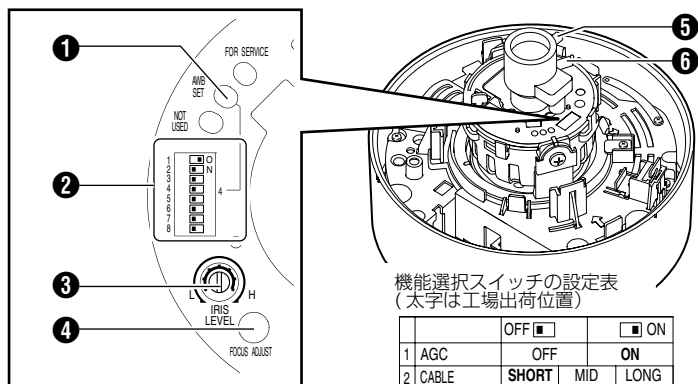
24 ラグプレート

シリカゲルを固定するプレートです。
(P. 17 ページ)

25 シリカゲル挿入用スペース

レンズ部とスイッチ設定について

カメラを取り付ける前に、カメラ本体にある、映像設定スイッチの設定を行います。
スイッチ設定は、先の細いドライバーなどで行なってください



機能選択スイッチの設定表
(太字は工場出荷位置)

	OFF ☐	☐ ON
1 AGC	OFF	ON
2 CABLE	SHORT ☐	MID ☐
3 LENGTH	☐	☐
4 WHT.BAL.	ATW	AWB
5 BLC	OFF	ON
6 DAY/NIGHT	OFF	ON
7 SHUTTER	1/60	1/100
8 RESERVED	☐ SET TO OFF	

① [AWB SET]

機能選択スイッチ ② の 4[WHT.BAL.] 設定スイッチが“AWB”に設定されている場合に2秒以上押すと、自動的にホワイトバランス調整をします。

② 機能選択スイッチ

1 [AGC] 自動ゲイン入切スイッチ

“ON”にすると被写体の明るさが不足した場合でも自動的に感度が上がります。
(出荷位置：ON)

2、3 [CABLE LENGTH] ケーブル長設定スイッチ

本機とCCU(カメラコントロールユニット)間を接続する同軸ケーブルの種類や長さによって、スイッチ設定します。

(※ 11 ページ)

(出荷位置：SHORT)

ご注意：

- 使用ケーブルの種類や長さに合わせ、正しく設定しないと、同期乱れなど、画面不良となります。

4 [WHT.BAL.] ホワイトバランス設定スイッチ

ホワイトバランス調整機能の設定をします。

ATW：

自動色温度追尾モードになります。
照明の色温度に応じて自動的にホワイトバランスを調整します。

AWB：

自動ホワイトバランス調整モードとなります。
映像を確認しながら [AWB SET] ボタン ① を2秒以上押し続けてください。自動的にその時点のホワイトバランス調整をします。
(出荷位置：ATW)

メモ：

- 本機のホワイトバランスは太陽光やハロゲンランプなどに合うよう設定されており、蛍光灯などの人工光に対しては、ホワイトバランスがとれない場合があります。
- AWB モード時、[AWB SET] ボタン ① を2秒以上押さずに途中で離れたり、調整範囲外の色温度では正しくホワイトバランスがとれません。

5 [BLC] 逆光補正入切スイッチ

被写体が逆光状態のとき“ON”にするとレンズの絞りが約 1 絞り開き、被写体が見やすくなります。

(出荷位置：OFF)

6 [DAY/NIGHT] 簡易 DAY & NIGHT 入切スイッチ

昼と夜などのように照度が大きく変わる被写体を撮影する場合“ON”に設定すると、照度が高い場合はカラー映像、低い場合は白黒映像に自動的に切り換わります。

(出荷位置：OFF)

ご注意：

- 本項目が“ON”に設定されている場合、機能選択スイッチ ② の 1[AGC] スイッチの設定に関係なく、AGC 機能は“ON”となります。
- 白黒映像では、感度が上がるため、画面がザラついたり、白点が増えることがあります。
- 本機の簡易 DAY & NIGHT 機能は、赤外線投光器などを併用する白黒暗視カメラとは異なり、白黒映像での感度アップ効果を活用した機能です。

7 [SHUTTER] 電子シャッター切換スイッチ

電子シャッターのスピードを切り換えます。

- 1/60 : 通常はこの設定で使います。
1/100 : 商用電源周波数 50 Hz 地域で蛍光灯照明下によるフリッカー現象を軽減します。(インバータ照明の場合は、1/60 に設定します。)

(出荷位置：1/60)

8 [RESERVED]

使用しません。必ず“OFF”に設定してご使用ください。

(出荷位置：OFF)

③ [IRIS LEVEL] 絞りレベル調節ボリューム

自動絞りレンズの絞りレベルを調節します。通常は、調節する必要はありません。被写体の条件などにより必要な場合は調節します。

暗くする時：反時計方向（L 側）

明るくする時：時計方向（H 側）

メモ：

- 絞りのレベル調節は、機能選択スイッチ ② の 1[AGC] スイッチを“OFF”に設定してから行なってください。“OFF”に設定しない場合、L 側に回しすぎると AGC 機能が働き、感度が上がり画質がザラついた感じになります。

④ [FOCUS ADJUST] フォーカス調節ボタン

レンズのフォーカスを合わせるときに使用します。

押すと約 30 秒間レンズの絞りが開き、被写界深度が浅くなるためフォーカスが調節しやすくなります。(P. 19 ページ)

メモ：

- フォーカス調節ボタンを押すと、電子シャッターが自動的にはたらくため、画面がちらつくことがあります。故障ではありません。

⑤ フォーカス調節リング

左右に動かし、フォーカスを調節します。

(P. 19 ページ)

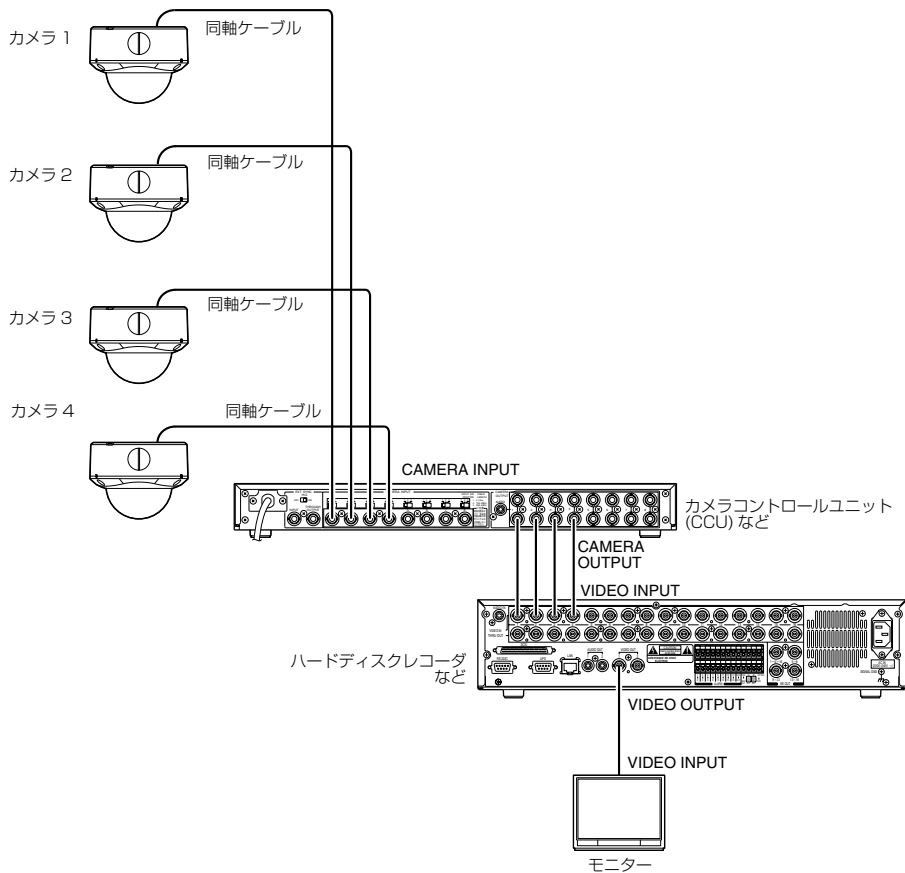
⑥ ズーム調節リング

左右に動かし、画角を調節します。

(P. 19 ページ)

システム例

- 接続は、使用機器の電源を切ってから行なってください。
- 使用機器の「取扱説明書」をお読みの上、行なってください。



メモ:

- 接続可能なカメラコントロールユニット (CCU)
TK-U1006、TK-U1403、TK-U1802、
TK-W410

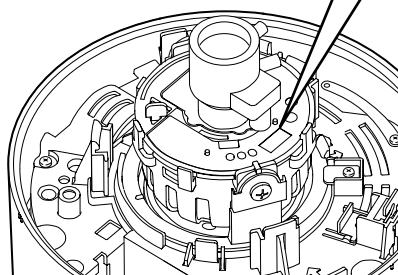
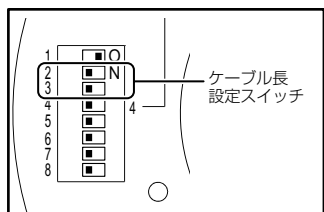
ご注意:

- 本機とカメラコントロールユニット (CCU) 間には、ケーブル補償器、映像分配器などを挿入しないでください。これらを挿入すると信号が正しく伝わりません。また、挿入した機器の故障の原因になります。

同軸ケーブル長の設定

本機とカメラコントロールユニット（CCU）間を接続する同軸ケーブルの種類や長さによって設定します。

- 接続は、必ず使用機器の電源を切ってから行なってください。



スイッチ設定		ケーブルの長さ
SHORT	OFF ON 	～ 165m
MID		165m ～ 333m
LONG		333m ～ 500m
設定不可		—

使用可能な同軸ケーブルの長さによる位相を補償するため、本機の機能選択スイッチの2、3ケーブル長設定スイッチを、下図を参考に設定してください。

使用ケーブル	長さ	0m	100m	200m	300m	400m	500m
	種類						
	3C-2V						
CABLE LENGTH スイッチ設定		SHORT	MID	LONG			

メモ：

- 使用ケーブルの種類により、使用可能な同軸ケーブルの長さが異なります。
- 使用可能な同軸ケーブルの長さは、接続するカメラコントロールユニット（CCU）の性能によって、上図の表より短くなる場合があります。詳しくは、カメラコントロールユニット（CCU）の取扱説明書をご覧ください。

参考：

5C-FB ケーブル使用時の設定

5C-FB ケーブルを使用した場合、本機の機能選択スイッチのケーブル長設定スイッチ2、3（ 8 ページ）を以下の様に設定してください。

スイッチ設定		ケーブルの長さ
SHORT	OFF ON 	～ 195 m
MID		195 m ～ 395 m
LONG		395 m ～ 500m

● CCU 側のケーブル補償スイッチ設定

5C-FB の低損失ケーブルを 333m ～ 500m の長さでご使用になると、CCU 側の Cable Compensator(ケーブル補償) 設定スイッチまたはメニュー設定を“2”または“MID”に設定してください。

(CCU 側を“3”または“LONG”設定でご使用になると、CCU 側のケーブル補償が過補償になり映像にノイズなどのミスクランプが発生する場合があります。)

接続から設定までの手順

以下手順で接続・設定を行なってください。
接続は使用機器の電源を切ってから行なってください。

- カメラ本体を触る前に必ず[MONITOR]端子の金属面を触り、体に帯電した静電気を放電してください。静電気によりカメラが故障する場合があります。



スイッチ設定をする

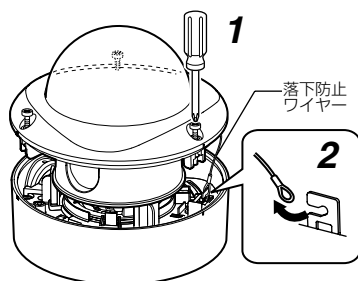
ドームカバーをはずし、映像に関するスイッチ設定を行います。

1. ドームカバーをはずす

ドームカバー固定ねじ（3個）をプラスドライバーでゆるめ、ドームカバーをはずします。

2. 落下防止ワイヤーをはずす

ドームカバーとカメラ本体をつなぐ落下防止ワイヤーをはずします。



3. インナードームをはずす

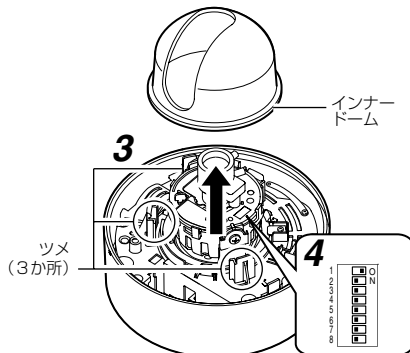
インナードームはツメ（3か所）で固定されています。インナードームをつかみツメからはずしてください。

ご注意:

- カメラ本体を触る前に必ず[MONITOR]端子の金属面を触り、体に帯電した静電気を放電してください。静電気によりカメラが故障する場合があります。

4. スwitch設定をする

映像に関するスイッチの設定を行います。
(※ 8 ページ)



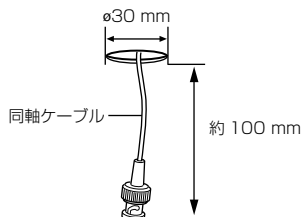
ベースを取り付ける

カメラ本体をベースからはずし、ベースを天井や壁に取り付けます。

壁に取り付ける場合は、手順の中で「天井」と書かれた部分を「壁」として取り付けます。

準備

必要に応じて、付属のテンプレートを使い取り付け用の穴（ $\phi 30$ mm）をあけます。



1. カメラ本体をベースからはずす

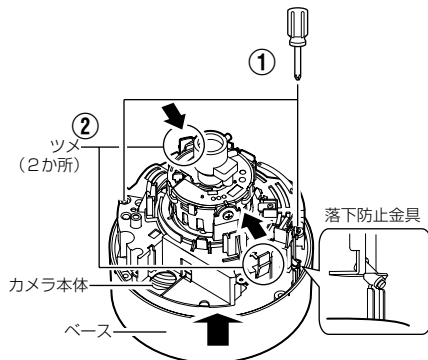
- カメラ本体とベースは落下防止金具でつながっており、完全にははずれません。
- 落下防止金具をレールからはずし、カメラ本体とベースを完全に分けて取り付ける事もできます。(※ 14 ページ)

① カメラ本体固定ねじ（2個）をドライバーでゆるめます。

② ツメ（2か所）を内側に押しながらカメラ本体をベースからはずします。

ご注意:

- カメラ本体をベースからはずすとき、カメラ本体に無理な力を加えないでください。落下防止金具が破損して、カメラ本体が落下する恐れがあります。



ベースを取り付ける（つづき）

2. 落下防止ワイヤーをベースに取り付ける（落下防止ワイヤーは添付されていません）

ベースの落下防止ワイヤー取付ねじをはずし、落下防止ワイヤーを取り付けます。

ご注意:

- 使用する落下防止ワイヤーは、長さ・強度・引き回し・材質（絶縁性）などにも十分注意してください。
- 使用する落下防止ワイヤーは、カメラ本体に取りつける輪の部分の内径がφ4.1 mm 以上φ6.5 mm 以下、外径がφ12 mm 以下のものを使用してください。

3. 落下防止ワイヤーを強度のある場所に取り付ける

落下防止のため、強度のある場所に落下防止ワイヤーを取り付けます。

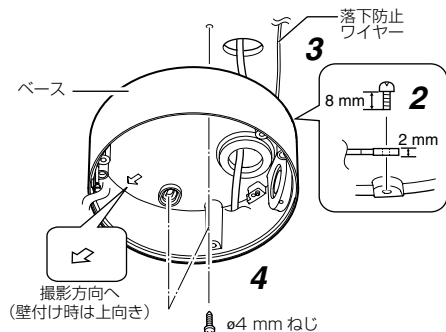
4. ベースを取り付ける

ベース内側の撮影方向マーク (⇧) を撮影方向に向けベースを取り付けます。壁に取り付ける場合は、撮影方向マーク (⇧) が上を向くよう取り付けます。

取り付けはφ4 mm ねじ2本を使い、行います。

ご注意:

- 壁に取り付ける場合は、必ず撮影方向マーク (㊦) が上を向くよう取り付けてください。ドームカバーの落下防止ワイヤーがはずれやすくなります。
- ø4 mm のねじは添付されていません。取り付ける場所の材質に応じて、適した種類のものをお使いください。
- 添付のねじ 2 本 (M4×8mm) はベースをアダプタープレートに取り付ける場合に使用します。ここでは使用しないでください。



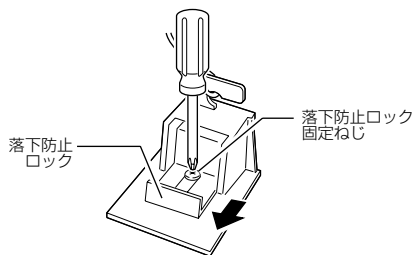
■ カメラ本体をベースから完全にはずして取り付けを行う

カメラ本体とベースは落下防止金具でつながっています。
ベースを天井などへ取り付ける場合、落下防止金具をレールからはずし、カメラ本体とベースを完全に分けて取り付けることもできます。

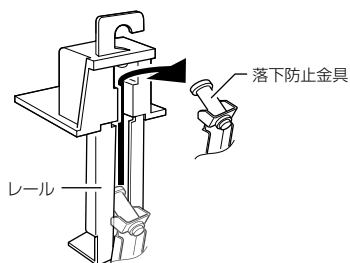
1. 落下防止ロック固定ねじを約半回転ゆるめる

2. 落下防止ロックをはずす

落下防止ロックを矢印の方向へ押し、ロックをはずします。



3. 落下防止金具をレールからはずす



メモ:

- カメラ本体をはずしてベースの取り付けを行なった場合は、必ず元の状態に戻してから、カメラ本体の取り付けを行います。

“カメラ本体からベースをはずした場合のカメラの取り付け”(P.17 ページ)

ケーブル接続

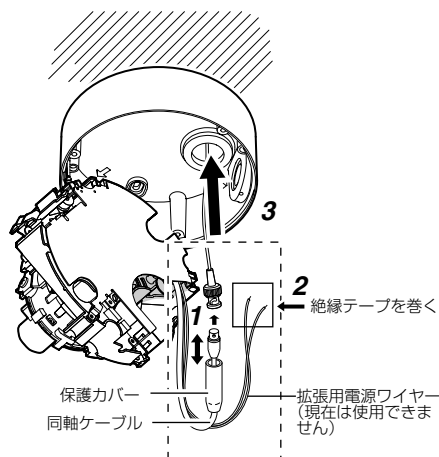
1. 同軸ケーブルをつなぐ (P. 11 ページ)

保護カバーを下げて、コネクター同士を接続します。接続完了したら保護カバーでコネクターを覆ってください。

2. 拡張用電源ワイヤーに絶縁テープを巻く

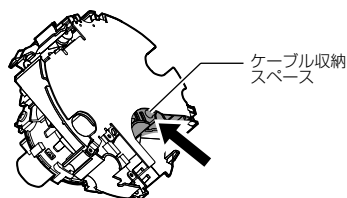
3. ケーブル類を収納する

接続が完了したら、コネクター部分を天井、もしくは配管側に押し込みます。



メモ:

- コネクター部分が天井、もしくは配管側に入らない場合は、カメラ本体の収納スペースに入れてください。



ご注意:

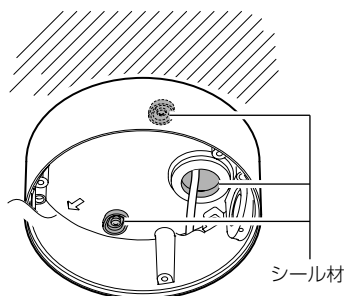
- カメラ本体がベースから引き出されているときは、カメラ本体に無理な力を加えないでください。落下防止金具が破損して、カメラ本体が落下する恐れがあります。

カメラ本体を取り付ける

配管穴と取付穴をシール材で埋め、カメラ本体をベースに取り付け、シリカゲルを入れます。

1. シール材で穴を埋める

配管穴、ねじを取り付けた取付穴（2か所）をシール材で埋めます。



メモ:

- シール材は、GE シリコンか同等のものをご使用ください。

ご注意:

- 配管穴、ねじを取り付けた取付穴（2か所）をシール材で完全にふさがないと、水や湿気が入り込み、レンズやドームカバーがくもる場合があります。これらの穴は完全にふさぐようにしてください

2. カメラ本体をベースに取り付ける

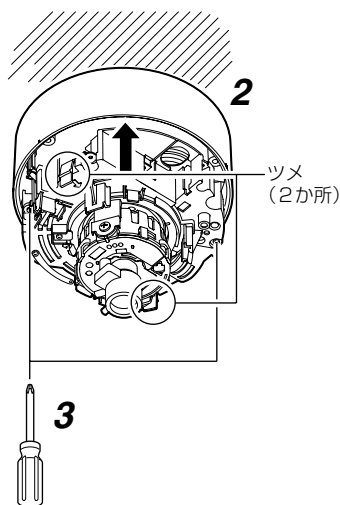
ツメ（2か所）がパチンというまで押し込みます。

ご注意:

- ケーブル類を挟み込まないように取り付けてください。

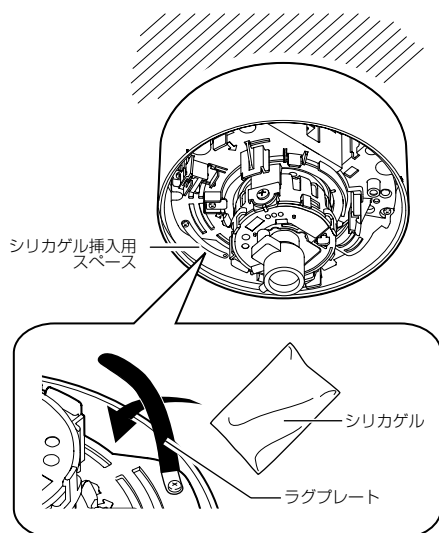
3. カメラ本体固定ねじで固定する（2か所）

カメラ本体固定ねじ（2個）をドライバーで締め付け、カメラを固定します。



4. 添付のシリカゲルを入れる

アルミバックからシリカゲルを取り出し、カメラ本体内部のシリカゲル挿入用スペースに入れてラグプレートで固定します。



メモ:

- 修理やメンテナンス時に再接続や再設置する場合は必ずシリカゲルを交換してください。
- 交換する場合はビクターサービスセンターへお問い合わせください。
交換する部品は、サービス部品番号
LW40500-001A のシリカゲルをご使用ください。

ご注意:

- 雨が降っているときに取り付ける場合は、雨が本機に侵入しないようにご注意ください。
- 必ず付属のシリカゲルをご使用ください。使用しないと、カメラレンズやドームカバーがくもる可能性があります。
- カメラの取り付け後すぐに画角調整を行わない場合は、調整終了後にシリカゲルを入れてください。長時間空気にさらすとシリカゲルの効果がなくなります。

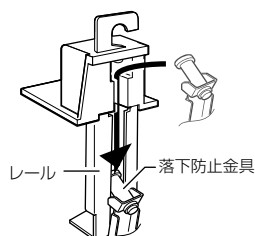
■ カメラ本体からベースをはずした場合のカメラの取り付け

(☞ 14 ページ)

1. シール材で穴を埋める (☞ 16 ページ)

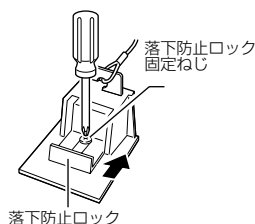
2. カメラ本体を落下防止金具でベースに取り付ける

① 落下防止金具をレールに取り付ける



② 落下防止ロックをかけ、落下防止ロック固定ねじで固定する

- ロックを図の方向に押し、落下防止金具をロックします。金具のねじをドライバーで締め付け、ロックを固定します。



3. カメラをベースに取り付ける (☞ 16 ページ)

4. カメラを固定する (☞ 16 ページ)

5. シリカゲルを入れる (☞ 17 ページ)

映像を調節する

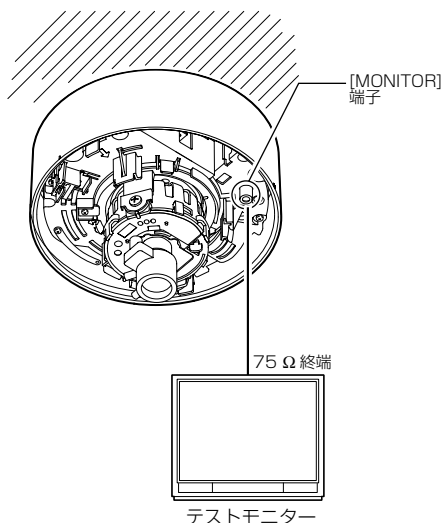
カメラの取り付けが終わったら、実際の映像を見ながら映像の調節を行なってください。

テストモニターを取り付ける

カメラの撮影方向、画角やフォーカスの調節を行うため、本機の [MONITOR] 端子をテストモニターに接続します。

メモ:

- 設定をするときは、システムの電源を入れてください。

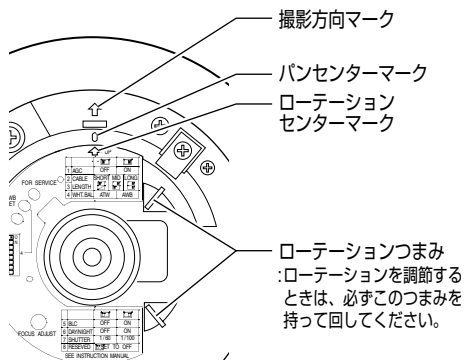
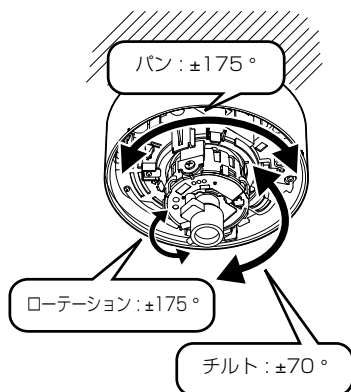


カメラの撮影方向を調節する

カメラ本体はパン、チルト、ローテーションの調節ができるようになっています。方向を調節し、カメラを被写体に向けてください。

ご注意:

- カメラ本体を触る前に必ず [MONITOR] 端子の金属面を触り、体に帯電した静電気を放電してください。静電気によりカメラが故障する場合があります。
- カメラの撮影方向を調節する前に、パン固定ねじがゆるめてあることを確認してください。パン固定ねじをゆるめずにレンズ部を動かすと、レンズ部が破損するおそれがあります。



メモ:

- パン・ローテーションは、カメラ本体の撮影方向マークと、パンセンターマーク、ローテーションセンターマークの3つのマークを合わせた位置よりそれぞれ $\pm 175^\circ$ 回転します。ローテーションを調節する場合は、レンズ部を持たず、必ずローテーションつまみを持ち、調節してください。
- 画角の調節後、振動が激しい場所などで使用する場合、カメラの画角がずれないように、チルト固定ねじを締めて固定してください。(※ 7 ページ)

ご注意:

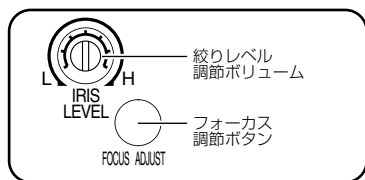
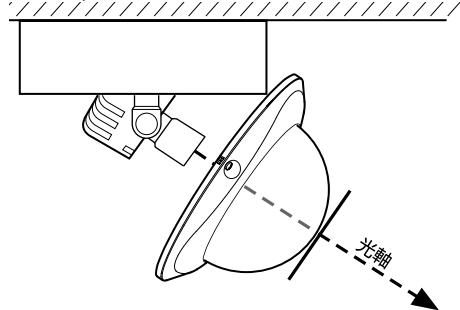
- 調節範囲を超えてカメラを動かすと、本機の性能が維持できなくなる場合があります。
- 本機では、チルト、ローテーションの範囲が広いので、画角や向きによっては、本機の一部が撮影画面に映り込む場合があります。
- カメラの方向を調節するとき、レンズ部を持たないでください。レンズ部に強い力を加えると、破損する場合があります。

画角・フォーカス・明るさを調節する

撮像方向が決まったら、画角、フォーカスの調節、明るさの調節などを行います。

ご注意:

- フォーカスをあわせる場合、必ずレンズにドームカバーをかざして行なってください。本機は性能上、ドームカバーが厚くなっています。ドームカバーをかざしてフォーカス調節を行わなかった場合、実際にドームカバーを取り付けたときに、ピントがずれることがあります。
- フォーカスをあわせる場合、レンズの光軸とドームカバーの中央が垂直になるようにかざして、画像がゆがまないようにしてください。(下図参照)



ズーム調節リング

W ◀ ▶ T

フォーカス調節リング

N ◀ ▶ F

画角の調節

ズーム調節リングの固定ねじをゆるめ、リングを左右に動かし画像サイズを調節します。

フォーカスの調節

フォーカス調節ボタンを押します。約 30 秒間絞りが開放状態となりますので、フォーカス調節リングの固定ねじをゆるめ、リングを左右に動かしフォーカスを合わせます。

メモ:

- 「画角の調節」と「フォーカスの調節」を 2 ～ 3 回繰り返して、設定してください。調節が終了したら、各固定ねじをしめて固定します。
- フォーカス調節ボタンを押すと、電子シャッターが自動的にはたらかなくなるため、画面がちらつくことがあります。故障ではありません。

明るさの調節

通常は調節する必要はありませんが、必要に応じて絞りレベルを調節します。

暗くするとき : 反時計方向 (L 側)

明るくするとき : 時計方向 (H 側)

メモ:

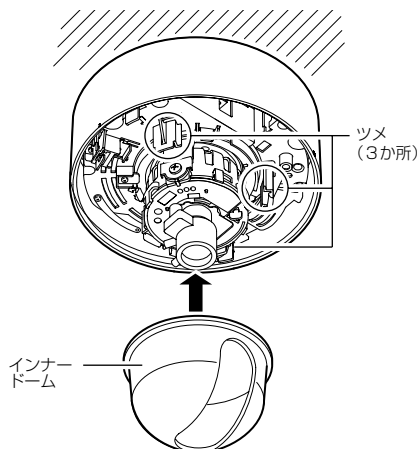
- フォーカス調整ボタンを押したあと 30 秒以内は絞りレベルの調整を行わないでください。(電子シャッターがはたらいており、正しい調整ができません。)
- 絞りレベルの調整は、機能選択スイッチ ③ の 1 [AGC] スイッチを“OFF”に設定してから行なってください。“OFF”に設定しない場合、L 側に回しすぎると AGC 機能が働き、感度が上がり画質がザラついた感じになります。

インナードームを取り付ける

すべての設定が終了したら、インナードームをカメラに取り付けます。

1. インナードームを取り付ける

ツメ（3か所）にインナードームを取り付けます。



ご注意:

- インナードームがレンズにかぶらないよう取り付けてください。
- インナードームを取り付けるとき、レンズの位置が動かないよう注意してください。設定した画角がずれてしまいます。

ドームカバーを取り付ける

1. ドームカバーをきれいにする

取り付ける前に、ドームカバーのほこりや汚れを取り除き、きれいにします。

メモ:

- 汚れたまま取り付けると、カメラの映像に映り込む場合があります。

2. ドームカバーの落下防止ワイヤーをカメラ本体に引っかける

ドームカバーに付いている落下防止ワイヤーをカメラの落下防止フックに引っかけます。

ご注意:

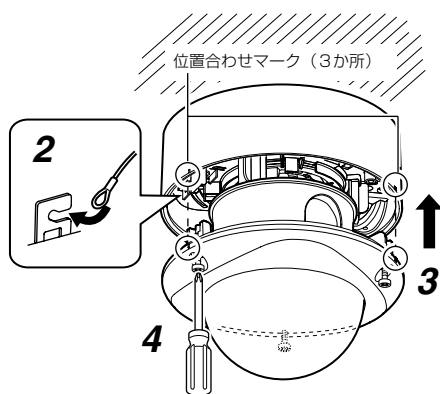
- ドームカバーを引っ張るなど、無理な力を加えないでください。落下防止ワイヤーがはずれ、ドームカバーが落下するおそれがあります。

3. ドームカバーをベースに取り付ける

ベースとドームカバーにある位置合わせマーク（3か所）を合わせて、ドームカバーを取り付けます。

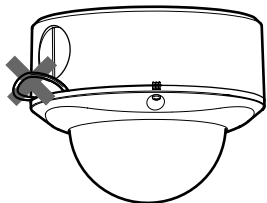
4. ドームカバーを固定する

プラスドライバーでドームカバー固定ねじ（3か所）を締め付け、固定します。



ご注意:

- ドームカバーの固定は確実に行ってください。
固定が不十分な場合、湿度が上り、くもりの原因や、カバー落下の原因にもなります。
- ドームカバーの落下防止ワイヤーを、ドームカバーとベースの間に挟み込まないよう注意してください。防塵・防水機能が適切にはたらかなくなる場合があります。



電工ボックスを使ってカメラを取り付ける

電工ボックスにアダプタープレートを取り付けて、ベースをアダプタープレートに取り付けます。

1. スイッチ設定をする (☞ 13 ページ)

2. カメラ本体をベースからはずす (☞ 13 ページ)

3. アダプタープレートを電工ボックスに取り付ける

M4 ねじ 4 本で、添付のアダプタープレートを電工ボックスに取り付けます。

メモ:

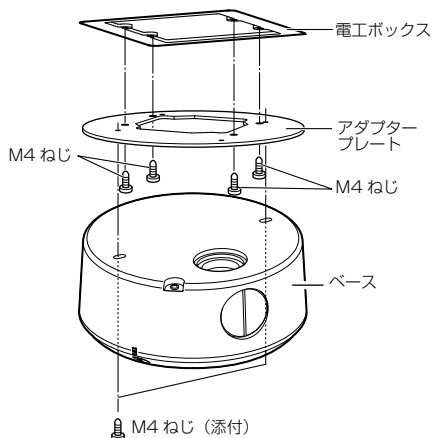
- M4 ねじは添付されていません。

ご注意:

- 添付のねじ 2 本 (M4×8mm) はベースをアダプタープレートに取り付ける場合に使用します。ここでは使用しないでください。

4. ベースをアダプタープレートに取り付ける

取付穴 (2 個) を使い、添付のねじ (M4×8mm) 2 本で、ベースをアダプタープレートに取り付けます。



5. 以下手順は、通常の取り付けと同じ

- ケーブル接続 (☞ 15 ページ)
- カメラ本体をベースに取り付ける (☞ 16 ページ)
- 映像調節 (☞ 18 ページ)
- インナードームを取り付ける (☞ 20 ページ)
- ドームカバーを取り付ける (☞ 20 ページ)

配管を使ってカメラを取り付ける

配管用の穴を使いカメラ取り付けます。

ベース底面の配管用穴を使用してカメラを取り付ける

1. スイッチ設定をする (☞ 13 ページ)
2. カメラ本体をベースからはずす (☞ 13 ページ)
3. ベースに落下防止ワイヤーを取り付ける (☞ 14 ページ)
4. シールテープを巻く

配管の接続部 (配管穴のねじ部と配管のねじ穴が合うところ) にシールテープを 2 回以上巻きつけます。

5. ベースを配管に取り付ける

ベースを時計方向に回し、配管にねじ込みます。(配管穴: G3/4-14 UNC)

ご注意:

- 配管をねじ込むとき、配管を 12 mm 以上ねじ込まないでください。それ以上ねじ込むと、本機内部が破損する原因となります。

6. ベースを天井に固定する

φM4 mm ねじ (2 本) で、ベースを天井に確実に固定します。

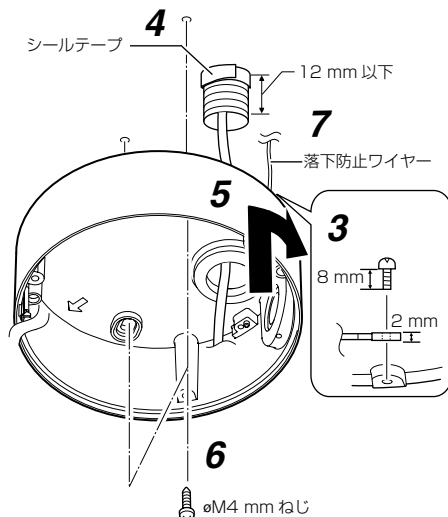
- 天井とベースの間に隙間がないか確認してください。

ご注意:

- φM4 mm ねじは添付されていません。取り付ける場所の材質に応じて、適した種類のものをお使いください。
- 添付のねじ 2 本 (M4×8mm) はベースをアダプタープレートに取り付ける場合に使用します。ここでは使用しないでください。

“ 電工ボックスを使ってカメラを取り付ける ” (☞ 21 ページ)

7. 落下防止ワイヤーを強度のある場所へ取り付ける (☞ 14 ページ)



8. 以下手順は、通常の取り付けと同じ

- ケーブル接続 (☞ 15 ページ)
- カメラ本体をベースに取り付ける (☞ 16 ページ)
- 映像調節 (☞ 18 ページ)
- インナードームを取り付ける (☞ 20 ページ)
- ドームカバーを取り付ける (☞ 20 ページ)

ベース側面の配管用穴を使用してカメラを取り付ける

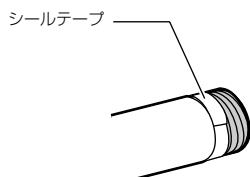
直接天井にカメラを取り付けられない場合、ベース側面の配管用穴を使いカメラを配管に取り付けます。

1. スイッチ設定をする (☞ 13 ページ)

2. カメラ本体をベースからはずし、落下防止ワイヤーを取り付ける (☞ 13 ページ)(☞ 14 ページ)

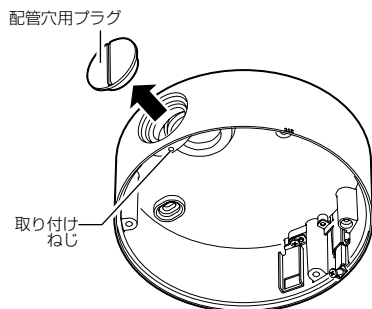
3. シールテープを巻く

配管の接続部（配管穴のねじ部と配管のねじ穴が合うところ）にシールテープを2回以上巻きつけます。



4. ベースの配管穴用プラグをはずす

マイナスドライバーで取り付けねじ（M3 × 6 mm）をゆるめ、ベース側面のプラグを抜き取ります。



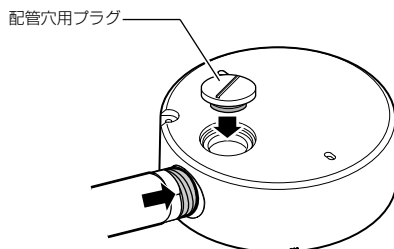
5. 抜き取った配管穴用プラグをベース底面の配管穴に取り付ける

6. ベースを配管に取り付ける

ベース側面の配管用穴に配管をねじ込みます。
(配管穴：G3/4-14 UNC)

ご注意：

- 配管をねじ込むとき、配管を 12 mm 以上ねじ込まないでください。それ以上ねじ込むと、本機内部が破損する原因となります。



7. 以下手順は、通常の取り付けと同じ

- ケーブル接続 (☞ 15 ページ)
- カメラ本体をベースに取り付ける (☞ 16 ページ)
- 映像調節 (☞ 18 ページ)
- インナードームを取り付ける (☞ 20 ページ)
- ドームカバーを取り付ける (☞ 20 ページ)

保証とアフターサービス

保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間について

保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。故障その他による営業上の機会損失は補償致しません。その他詳細は保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

アフターサービスについてのお問い合わせ先

アフターサービスについてのご不明な点はお買い上げ販売店、または別紙サービス窓口案内をご覧ください。最寄のサービス窓口にご相談ください。

消耗部品について

下表は消耗部品の一覧です。これらの部品の交換にともなう部品代および技術料、出張料を含む修理費用は保証期間内でも有償となります。

部品名	備考
● レンズ組み立て ● 撮像素子 (CCD)	一年保証のみ
シリカゲル	—

修理を依頼されるときは

お買い上げ販売店、またはサービス窓口に次のことをお知らせください。

品名	: カラービデオカメラ (ドーム・耐衝撃型)
品番	: TK-S215VP
お買い上げ日	:
故障の状況	: 故障の状況をできるだけ具体的に
ご住所	:
お名前	:
電話番号	:

商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適切に処理してください。

仕様

■ カメラ部

テレビジョン方式	: NTSC 方式準拠
撮像素子	: 1/4 型インターライン転送方式 CCD 768 (H) × 494 (V)
カラー撮像方式	: 単板色差線順次方式
同期方式	: 多重 C.Sync 方式
走査周波数	: 水平 15.734 kHz、 垂直 59.94 Hz

■ 映像出力

CCU 出力	: VB 0.85 V(p-p)、75 Ω、 BNC
モニター出力	: VBS 1.0 V(p-p)、75 Ω、 ピンジャック
映像 S/N	: 50 dB (AGC OFF、 ウエイト付、白 50 %出力)
水平解像度	: 540TV 本 (標準)
最低被写体照度	
カラー映像	: 2.5 lx (標準、AGC ON、 50 IRE、WIDE 端) 0.8 lx (標準、AGC ON、 25 IRE、WIDE 端)
白黒映像	: 1.4 lx (標準、AGC ON、 50 IRE、WIDE 端) 0.4 lx (標準、AGC ON、 25 IRE、WIDE 端)
ホワイトバランス	: ATW (自動追尾) /AWB (自動調整) (スイッチ切 換)
電子シャッター	: 1/60 秒 (標準) 1/100 秒 (50 Hz 照明フ リッカーレス)
逆光補正	: ON/OFF (スイッチ切換)
簡易 DAY&NIGHT	: ON/OFF (スイッチ切換)

■ レンズ部

ズーム比	: 約 3.6 倍
焦点距離	: 2.8 mm ~ 10 mm (可変)
最大口径比	: F 1.3 (f = 2.8 mm) F 3.0 (f = 10 mm)
最小絞り値	: F 360 相当
包括角度	: f = 2.8 mm の時 73 °(H) × 54 °(V) f = 10 mm の時 20 °(H) × 15 °(V)
撮像角度調節:	
パン	: ±175 °
チルト	: ±70 °
ローテーション	: ±175 °

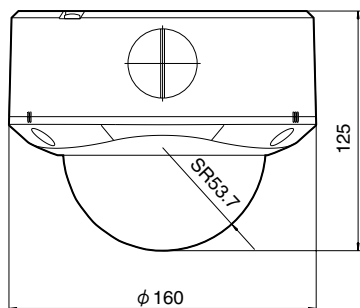
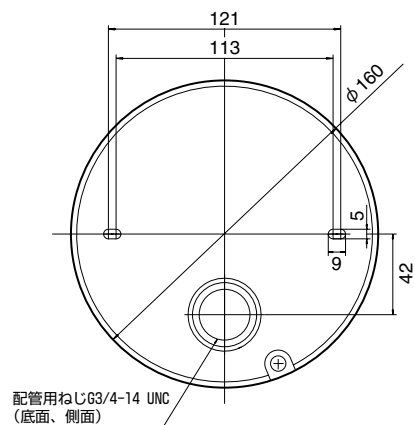
■ 総合

電源	: 専用 CCU より供給 (DC15 V ~ DC 21 V)
消費電流	: 約 210 mA
質量	: 1.2 kg
周囲温度	: -10 °C ~ 50 °C (動作)、 0 °C ~ 40 °C (推奨)
防塵・防水性	: JIS C 0920 IP66
添付物・付属品	: 取扱説明書 1 安全上のご注意 1 設置上のご注意 1 保証書 1 ビクターサービス窓口案内 1 シリカゲル 1 テンプレート 1 アダプタープレート 1 ねじ (M4 × 8 mm) 2

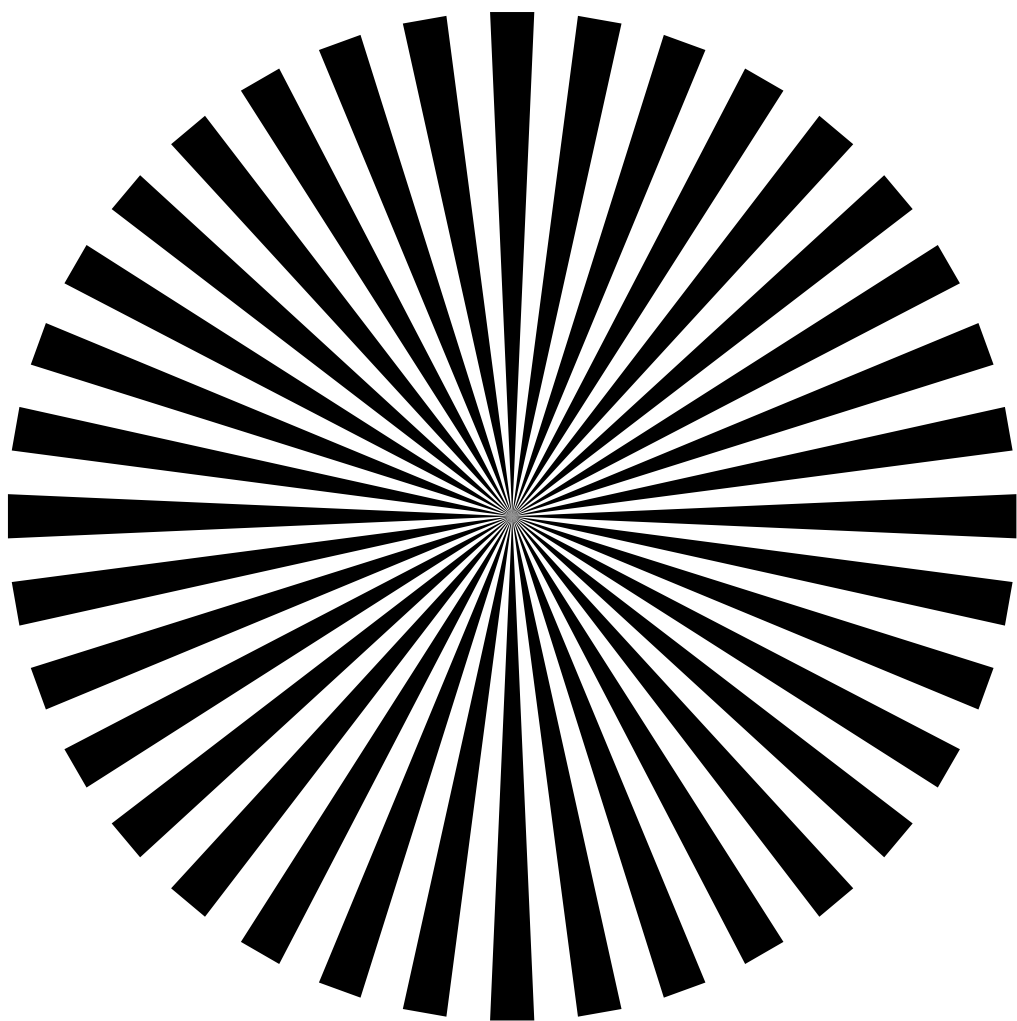
仕様（つづき）

■ 外形寸法図

[単位：mm]



※ 本機ならびに関連商品の仕様および外観は、
改善のため予告なく変更することがあります。



フォーカスチャート

お客様ご相談センター

フリーダイヤル



0120-2828-17

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は

電話 **(045)450-8950** [代表]

FAX **(045)450-2275**

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ビクターホームページ <http://www.victor.co.jp/>

日本ビクター株式会社

〒192-8620 東京都八王子市石川町 2969-2 電話 (042)660-7203